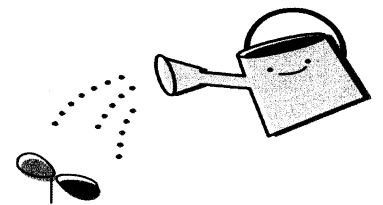


取り組んでみて気づいたこと、困ったことなど

- ・以前から畑に大きなコンポストを2基設置し、生ごみを投入していたが、入れっぱなしで観察することなく、半年後に畑に撒いていた。
- 畑のコンポスト、ダンボールコンポストいずれも、生ごみの減量という点では同じだが、ダンボールコンポストは、野菜くずを刻んだり、攪拌したりと手間がかかる分、愛着もわき、楽しくできた。
- ・基材にお金がかかるが、続けてやってみたい。
- プランターの花や野菜がどのようになるか楽しみ。
- ・ダンボール箱は水分で底が抜けるので、今後、工夫してみたい。
- ・少人数の家庭は、野菜くずなどの生ごみがあまり出ないため、投入するものも少ない。
- ・小さい虫が少し発生したのが困った。
- ・水のやりすぎで状態が悪くなってしまい、途中で断念した。
- ・いつまでたっても温度上昇がなく、米ぬかや鶏ふんを入れるなど自分なりに工夫しながらも戸惑うことが多かった。温度が上昇しなかった場合の対応を、もっと知りたかった。
- ・梅雨どきのカビ、夏期の小バエはどうしたらいいか、教えてほしい。
- ・コンポスト内へ投入した量に比べ、減少していることが確実にわかり、「分解している」と実感した。
- ・春になったら畑へ入れる予定。収穫が楽しみ。
- ・コンポストをきっかけに、ごみの分別をきちんとする、食器の汚れは布で拭きとってから洗うなど、環境への取り組みをさらに考えるようになり、よかった。
- ・少し深さのあるダンボール箱に入れていたので、投入後の攪拌が大変だった。特に底の方はほとんど混ざっていない感じになってしまった。
- ・温度が上がらなくて困った。
- ・水分として米のとぎ汁を時々入れたが、どのくらい入れるのが適量なのかわからなかった。
- ・EM活性液500ccを入れたところ、基材の温度が30℃に上昇した(気温25℃)。
- ・深めの箱だったので、攪拌するのが大変だった。



- ・佐渡の柿の箱は、ダンボールを二重にしたものがある。たまたま去年の柿の箱をとっておいたので活用できてよかった。
- ・できあがった土をポットに入れ、チューリップの球根を植えたら、ネズミに掘られてしまった。人間の目には土に見えても、まだ食べられるものがあったようで、反省した。
- ・ダンボールコンポストは、楽しみが増えてよい。ごみの減量に関わり、うれしく楽しい毎日を過ごせた。
- ・小さな虫が発生したが少数で、気になるほどでもなかったなので、楽しく観察できた。
- ・何か一つの事を成し遂げるといのは、この年齢では大変だったが、一つひとつ行動することで考えさせられ、頭の中も成長させてもらうことができ、ありがたかった。
- ・売っている培養土と同じようにサラサラしておいもなく、よい土になった。
- ・花たちも喜びそうな土だと思う。花好きな私は、この土で花を咲かせるのが楽しみ。皆さんが振り向くような花を咲かせたい。
- ・サラサラとはしているが、少し虫が発生した。
- ・温度が全く上がらなかった。
- ・攪拌するのをすっかり忘れてしまったことが何回かあった。
- ・ダンボールをどこに設置すればよいか悩んだ。
- ・毎日攪拌するのは、大変な作業だと思った
- ・どの状態(サラサラ・しっとり)が正解なのかわからず戸惑った。最初にもう少しくわしく、野菜くずの入れ方、保管場所、分解された土の様子などを、実際の土や野菜を使って教えていただきたかった。文章だけではわかりにくい
- ・虫と臭い対策として、石の重しと芳香剤を乗せてみたら効果があり、虫も全くこないし、臭いもしなくなった(たまたま、かもしれませんが)。
- ・野菜中心に投入したせいか、活性液(EM菌)の量が多すぎたか、水分過多だったかも。
- ・水分を含んだ基材が重くなり、中箱が攪拌時に破れて箱を交換した。水の入れすぎではなく、攪拌不足のためだと思う。底からまんべんなくかき混ぜたら、水分過多になることはなかった。攪拌は丁寧にまんべんなく、が大事
- ・10年くらい経過した「佐渡市の土」を使用し、資料を参考に模索しながら取り組んだが、成功だったのか。失敗だったのかは、使ってみないとまだわからない。
- ・温度上昇がなかったなので、熟成したのかわからなかった。もう少し早い時期(夏)に始めればよかったかもしれない。



- ・細かい虫の発生と、箱が水分でやわらかくなることに困った。
新しいダンボールに入れ替えた。
- ・ごみ減量に貢献できたと思う。
- ・小さい虫が発生した。
- ・最後、湿気でダンボールがフニャフニャになり、新しいダンボールに入れ替えた
- ・コンポストの場所を、「臭いが気にならないように」と少し離れた小屋にしたせいで、投入や攪拌などをうっかり忘れることが多く、あまりうまくできなかった。
- ・分解される効果によって、生ごみの投入を続けても、土の量が増えないのが不思議だった。
- ・こまめに観察してはいなかったが、「やらなければ」と、やや苦痛に感じたこともあった。
- ・他の方たちが熱心に取り組んだ様子を聞き、少し反省している。

